

令和6年度 第1回 引佐北部小中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年 5月9日（木） 13時30分から15時50分まで
- 2 開催場所 引佐北部小中学校 多目的室
- 3 出席委員 鈴木 知成、山本 培代、廣瀬 稔也、池田 信子、五十川 亜純、
松田 好道、萬立 芳朗
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 小川 誠司（校長）、高柳 もと子（教頭）、中道 茂美（教務主任）、
平田 香織（教務主任）、田力 里枝（CSディレクター）
- 6 傍聴者 なし
- 7 会議録作成者 CSディレクター 田力 里枝

8 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、五十川委員が推挙され、全員異議無くこれを承認した。

9 協議事項

- | | |
|--------------------------|---------|
| （1）引佐北部小中学校いじめ防止基本方針について | 校長 |
| （2）教育課程特例校について | 校長・教務主任 |
| （3）学校運営協議会の年間計画について | 校長 |
| （4）夢育やらまいか推進事業CS加算分について | 教頭 |

10 会議記録

- ・司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。
- ・学校からの出席者の自己紹介を行った。
- ・浜松市学校運営協議会規則について校長から変更の説明があった。
- ・前回の会議録、前年度の自己評価表についての説明があった。

（1）引佐北部小中学校いじめ防止基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づきいじめ防止基本方針について説明があり、委員からは、以下の発言があった。

- ・浜松市の基本方針が完璧なので、どこの学校も同じような取組をしている。

本校の特色はあるのか。（松田委員）

→ 子供に考えさせることを取り入れた。今後も継続して考えていきたい。（校長）

- ・取組についての報告はどのように行うか。いじめのアンケートの主催はどこか。

（萬立委員）

→ 報告はこの運営委員会やPTA総会など口頭で行う。アンケートの主催は浜松市教育委員会。年に2回を推奨しているが本校は3回行っている。（校長）

- ・いじめと感じていることを子供が言えているなら、風通しはいいと思う。（五十川委員）

- アンケート以外に教員が見ている声かけをすることもある。(校長)
- 自分以外のことを心配して伝えてくれることもある。(平田教諭)
- ・ あたたかい雰囲気がこの学校の特色と思う。(池田委員)
- ・ 登校の見守りをしているときでも、元気がない子供は見ていてわかる。(萬立委員)
- ・ 子供、保護者、教員がお互いに何でも言える関係が作られるといい。(松田委員)

(2) 教育課程特例校について

校長より、標準的な教育課程に戻した場合の利点と欠点の説明があった。12年の間に文部科学省の学習指導要領も変わってきている。

- ・ 保護者や地域と議論を深めてから決めるのが大切。(鈴木委員)
- ・ 12年間の成果を検証する必要がある。検証委員会のようなものを作ってはどうか。卒業生にアンケートを取ってみたい。(廣瀬委員)
- ・ 特例校にすることで、教員数や費用面でのメリットはあるのか。(松田委員)
 - ない。(校長)

(3) 学校運営協議会の年間計画について

校長から、年間計画について説明があった。子供を交えての協議会は2学期に変更し、それまでに話し合いのテーマや子供の参加者を考えたい。協議会のメンバーが子供の考え方をすることで、熟議が深まることを期待している。

- ・ 運動会の感想やきりやま販売、みさとパビリオンの目標を聞いてみたい。(五十川委員)
- ・ どんな学校にしたいかを聞きたい。(廣瀬委員)
- ・ 「どんな学校にしたいか」をテーマにすると、そこから色々聞き出せそう。(池田委員)

(4) 夢育やらまいか推進事業CS加算分について

教頭から加算分について意見書案の提示があり、協議の結果、全員異議無く承認した。

その他報告事項等

- ・ 司会から、次回会議は、令和6年6月27日(木)13時30分に開催する旨の報告があった。
- ・ 次回の議長は池田委員が選出された。